



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社マイクロアド 上場取引所 東
コード番号 9553 URL <http://www.microad.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役 社長執行役員 （氏名）渡辺 健太郎
問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員 コーポレート本部長 （氏名）福田 裕也 TEL 050-(1753)-0440
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（決算説明動画配信予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	14,441	23.6	862	67.4	768	66.3	585	543.7
2025年9月期第3四半期	11,680	13.1	514	45.6	461	53.0	90	△68.3

（注）包括利益 2026年9月期第3四半期 642百万円（132.4％） 2025年9月期第3四半期 276百万円（△5.5％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	21.30	21.15
2025年9月期第3四半期	3.30	3.30

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第3四半期	10,492	4,050	37.9
2025年9月期	9,149	3,897	38.2

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 3,975百万円 2025年9月期 3,497百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	17,788	13.5	1,024	67.1	952	79.3	678	247.6	24.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	27,831,354株	2025年9月期	27,831,354株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	280,795株	2025年9月期	488,767株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	27,469,732株	2025年9月期3Q	27,506,514株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、「添付資料」3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの事業はデータプラットフォーム事業の単一セグメントであります。セグメントを構成する主要なサービスとして、①データプロダクトサービス、②コンサルティングサービスの2つのサービスによって事業展開しております。当第3四半期連結累計期間における、それぞれのサービスの経営状況は下記のとおりです。なお、2026年9月期より従来までコンサルティングサービスに属していた一部の事業を、データプロダクトサービスに組み替えた為、前年の実績はサービス組み換え後の遡及修正した実績としております。

①データプロダクトサービス

データプロダクトサービスは「UNIVERSE」を中心とした、企業のマーケティング活動を支援するデータプラットフォームです。様々な業界・業種に特化した多様なデータを保有し、それらを有機的に統合分析することで、消費者の購買プロセスの可視化と予測、そのデータを活用した広告配信から顧客属性等の分析レポート作成まで幅広く企業のマーケティング活動を支援しております。

「UNIVERSE」の拡大にあたっては、新たなデータパートナーとの提携による業種別プロダクトの性能強化によって、より顧客のニーズや規模に合致したサービス提供を行っております。また営業体制としては顧客の属性毎に最適化した営業組織を編成し、顧客ニーズを的確にとらえた製品開発やサービス提供体制を整えております。これらの施策に加え、継続的に新卒採用による営業人員の強化や、地方をはじめとする営業拠点の拡大を行い、主要KPIである稼働アカウント数の順調な拡大を実現しております。さらに、生成AI等を活用した業務効率化や業務削減を実施することで営業効率を高め、様々な原価削減施策を実施したことで利益率が向上し、売上高・売上総利益ともに前年同期比で増加いたしました。

また、2025年9月期より、自社開発の広告プラットフォームによるUNIVERSEのデータ活用に加えて、他社の大手SNSや大手動画プラットフォームなどの「他社プラットフォーム」へUNIVERSEのデータ接続を開始いたしました。この取り組みによって、UNIVERSEのデータ利用範囲が拡大し、より多くの顧客のマーケティングニーズに応えることが可能になることで、さらなる収益の拡大が見込まれます。2025年9月期まで「他社プラットフォーム」による収益は、コンサルティングサービスに属する「その他」領域の収益として開示しておりましたが、UNIVERSEのデータ接続が可能となったことで、2026年9月期よりデータプロダクトサービスの収益として開示いたします。

これらの結果、データプロダクトサービスの売上高は7,931百万円（前年同期比14.4%増）、売上総利益は2,806百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

②コンサルティングサービス

コンサルティングサービスは、「メディア向けコンサルティングサービス」と、「海外コンサルティングサービス」の2つのサービスが属しております。

メディア向けコンサルティングサービスは、日本国内においてインターネットメディアの広告枠を預かり、様々な広告サービスを組み合わせることでメディア企業の広告収益を最大化するサービスを提供しております。特に当社が提供する「MicroAd COMPASS」においてはメディア企業に対する広告枠の企画提案や、提供する広告サービスの改善などによって事業を拡大しております。

海外コンサルティングサービスは、台湾を中心としたデジタルマーケティングのコンサルティングサービスを提供しております。昨今の訪日観光客の急速な増加に伴い、日系企業のインバウンドマーケティングの需要が拡大いたしました。加えて、新規事業として2025年9月期より、海外消費者向けに日本の人気VTuberなどのIP（知的財産）とメーカーの商品とのタイアップ企画から販売までを行う株式会社IPmixerを設立し、海外消費者向けの物販事業を開始したことで、前年同期比では売上・売上総利益ともに増加しております。

これらの結果、コンサルティングサービスの売上高は6,510百万円（前年同期比37.1%増）、売上総利益は1,683百万円（前年同期比42.9%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は14,441百万円（前年同期比23.6%増）、営業利益は862百万円（前年同期比67.4%増）、経常利益は768百万円（前年同期比66.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は585百万円（前年同期比543.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,398百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,078百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が232百万円増加したこと及び有価証券が125百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,093百万円となり、前連結会計年度末に比べ263百万円増加いたしました。これは主にのれんが253百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は10,492百万円となり前連結会計年度末に比べ1,342百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,773百万円となり、前連結会計年度末に比べ804百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が308百万円増加したこと及び短期借入金が300百万円増加したことによるものであります。固定負債は668百万円となり、前連結会計年度末に比べ384百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が400百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は6,441百万円となり前連結会計年度末に比べ1,189百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は4,050百万円となり、前連結会計年度末に比べ153百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が585百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は37.9%（前連結会計年度末は38.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年5月15日に公表した連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,354,619	3,049,869
受取手形及び売掛金	2,216,255	2,448,911
有価証券	157,375	282,654
その他	611,120	645,221
貸倒引当金	△19,710	△28,595
流動資産合計	5,319,660	6,398,061
固定資産		
有形固定資産	513,013	533,578
無形固定資産		
のれん	1,000,596	1,253,963
その他	595,819	490,293
無形固定資産合計	1,596,415	1,744,256
投資その他の資産	1,720,590	1,816,108
固定資産合計	3,830,019	4,093,944
資産合計	9,149,680	10,492,005
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,480,358	1,789,165
短期借入金	2,480,000	2,780,000
1年内返済予定の長期借入金	19,800	135,840
未払法人税等	159,191	108,302
その他	829,384	960,410
流動負債合計	4,968,734	5,773,719
固定負債		
長期借入金	185,220	585,980
資産除去債務	85,665	79,283
その他	13,030	2,902
固定負債合計	283,915	668,165
負債合計	5,252,650	6,441,884

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,033,554	1,033,554
資本剰余金	1,181,239	973,817
利益剰余金	1,183,071	1,768,211
自己株式	△112,381	△64,562
株主資本合計	3,285,483	3,711,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,054	△12,020
為替換算調整勘定	208,479	276,880
その他の包括利益累計額合計	211,533	264,859
新株予約権	33,665	61,698
非支配株主持分	366,347	12,542
純資産合計	3,897,029	4,050,121
負債純資産合計	9,149,680	10,492,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年10月1日 至2026年6月30日)
売上高	11,680,568	14,441,599
売上原価	8,147,505	9,951,803
売上総利益	3,533,063	4,489,795
販売費及び一般管理費	3,018,106	3,627,714
営業利益	514,956	862,081
営業外収益		
受取利息	8,823	6,002
受取配当金	4,385	5,184
売買目的有価証券運用益	—	70,926
為替差益	32,027	—
先物取引運用益	—	6,163
その他	8,038	17,836
営業外収益合計	53,276	106,112
営業外費用		
支払利息	18,107	29,747
売買目的有価証券運用損	15,181	—
持分法による投資損失	35,556	59,644
先物取引運用損	24,551	—
投資有価証券評価損	6,211	8,091
為替差損	—	78,312
解約違約金	5,821	—
その他	827	23,926
営業外費用合計	106,256	199,722
経常利益	461,975	768,471
特別利益		
投資有価証券売却益	12	—
段階取得に係る差益	—	41,955
為替換算調整勘定取崩益	3,003	15,170
負ののれん発生益	—	85,115
資産除去債務戻入益	14,495	—
その他	788	—
特別利益合計	18,300	142,241
特別損失		
固定資産除却損	20,734	101,285
投資有価証券評価損	131,956	—
関係会社株式売却損	5,840	—
関係会社整理損	43,635	—
特別損失合計	202,166	101,285
税金等調整前四半期純利益	278,109	809,427
法人税、住民税及び事業税	128,680	139,628
法人税等調整額	37,656	86,467
法人税等合計	166,337	226,096
四半期純利益	111,772	583,331
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	20,864	△1,809
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,907	585,140

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2024年10月1日 至2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2025年10月1日 至2026年6月30日)
四半期純利益	111,772	583,331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	131,338	△15,075
為替換算調整勘定	33,358	68,671
持分法適用会社に対する持分相当額	—	5,676
その他の包括利益合計	164,696	59,272
四半期包括利益	276,468	642,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224,432	638,466
非支配株主に係る四半期包括利益	52,036	4,137

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	170,787千円	192,439千円
のれんの償却額	94,555千円	109,269千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

当社グループは、データプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

当社グループは、データプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

(第三者割当による第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行)

当社は、2026年7月17日開催の当社取締役会において、下記のとおり第三者割当により発行される転換社債型新株予約権付社債（以下「本新株予約権付社債」といい、その社債部分を「本社債」、その新株予約権部分を「本新株予約権」といいます。）の募集について決議いたしました。詳細につきましては、2026年7月17日付にて開示いたしました「第三者割当により発行される第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の募集に関するお知らせ」に記載しております。

(1) 払込期日	2026年8月4日 2026年8月4日に本新株予約権付社債は割り当てされました。
(2) 新株予約権の総数	22個
(3) 社債及び新株予約権の発行価額	本社債の金額100円につき金100円 但し、本新株予約権と引換えに金銭の払込みを要しないものとします。
(4) 当該発行による潜在株式数	3,583,061株
(5) 調達金額の額	2,200,000,000円（差引手取概算額：2,164,700,000円）
(6) 行使価額又は転換価額	1株当たり614円
(7) 募集又は割当方法	第三者割当の方法により、すべての本新株予約権付社債を、委託者兼当初受益者としてのAHG Cayman Ltd. と受託者としてのキャピタル信託株式会社（以下「キャピタル信託」といい、AHG Cayman Ltd. と併せて「割当先」といいます。）との間の2026年8月3日付特定金銭信託契約証書（契約番号：7380）（以下「本件信託契約」といいます。）に基づき受託者として行為するキャピタル信託に割り当てました。
(8) 資金の使途	①AIファクトリーの構築に伴う投資資金：367百万円 ②データ経済圏の拡大に資するM&A及び戦略的投資の資金：1,797百万円
(9) 割当先	キャピタル信託株式会社
(10) その他	前記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件としています。 また、当社は、割当先との間で、2026年8月3日付で、本新株予約権付社債に係る引受契約（以下「本引受契約」といいます。）を締結いたしました。本引受契約において、以下の内容を含む事項が定められます。 本新株予約権付社債の譲渡制限 本新株予約権付社債は、原則として当社の取締役会の事前の承認なく譲渡することはできません。なお、本件信託契約の定めに基づく譲渡、本新株予約権付社債の発行価額の払込に関してキャピタル信託に貸付を行う予定の株式会社あおぞら銀行（以下「あおぞら銀行」といいます。）に対してキャピタル信託が負担する債務の担保のために本新株予約権付社債に質権を設定すること、当該貸付けに係る契約上の地位又は権利の移転に伴い当該質権が移転すること、及び当該質権の実行に伴う本新株予約権付社債の取得又は処分についてはこの限りではありません。

(自己株式の取得)

当社は、2026年7月17日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議し、自己株式の取得を実施いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

当社は、2026年7月17日付けで公表いたしました第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の発行に伴う潜在的な株式の希薄化、並びに将来的にストック・オプションとして発行する新株予約権の行使に際して交付する株式及び当社の役員等に対する譲渡制限付株式報酬として交付する株式への充当に伴う株式の希薄化による株主への影響の低減を図るとともに、資本効率の向上を図る目的で、自己株式の取得を検討してまいりました。今般、当社より、当社のその他の関係会社である株式会社サイバーエージェント（以下「サイバーエージェント」といいます。）に対して、同社が保有する当社普通株式の一部の売却を打診したところ、同社から応諾を得ましたので、本自己株式取得を行うことといたしました。なお、サイバーエージェントからは、本自己株式取得後において当社普通株式を市場で売却する予定はなく、引き続き当社株式を長期的に保有していく方針である旨の確認を得ております。

2. 取得の内容

(1) 取得する株式の種類	当社普通株式
(2) 取得する株式の総数	1,200,000株（上限） 〔発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合：4.36%〕
(3) 株式の取得価額の総額	600,000,000円（上限）
(4) 取得日	2026年7月21日
(5) 取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNet-3）による買付け

3. 自己株式の取得の結果

上記買付による取得の結果、2026年7月21日に東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNet-3）により当社普通株式1,020,400株を599,995,200円で取得し、当該決議に基づく自己株式の取得を終了いたしました。